

子どもと違う？おとなむし歯！

子どもの頃から長年の酷使に耐えているおとなの歯は歯ぐきの退縮、詰めたりかぶせたり治療した痕、そして欠け・すり減りがあるうえ痛みも出にくく、リスク大。

エナメル質に守られていない箇所が多いのがおとなの歯の特徴です。エナメル質の内側にあるセメント質や象牙質は柔らかく、酸に弱いため、おとなのお口は虫歯になりやすいのです！



子どもの頃とはできる場所も理由も違います！

歯の根元のむし歯(根面う蝕)

歯周病になって歯茎が退縮すると歯茎に覆われていたセメント質や象牙質がむき出しになってしまいます。

痛まず気付かずにいると環状に広がって歯がポロッと折れてしまう事も・・・。



詰め物やかぶせ物の周り(二次う蝕)

詰めたり、かぶせてある治療済みの歯。

詰め物やかぶせ物は人工物なので虫歯になりません。

でも油断すると隙間からその下の象牙質に酸が入り込んで新たなむし歯ができてしまいます。

外から見えにくいのでやっかいです。

二次う蝕



おとなむし歯を減らすには...

メンテナンスが大切！

おとなのむし歯は、子どもの頃のように痛まず、痛いと思っただころにはかなり悪くなっている事が珍しくありません。

治療が終わって楽になったお口をより長く維持するために、かかりつけの歯科医院で定期的な健診やメンテナンスを受けましょう。

自覚症状が出にくいだけに、定期的にチェックし、安心して過ごすことこそが重要なのです。